

<参考>

「全国フロントマン見積技術競技会」について

○ JARICとフロントマンについて

JAおよびJA共済連では、優秀な技術を有する自動車整備工場を会員とするJA共済自動車指定工場協力会(愛称:JARIC〔ジェイエリック〕)を組織しており、現在、全国1,700の指定工場が加盟しています。

フロントマンは、その指定工場の代表者として、ドライバーの相談や苦情の窓口となるとともに、工場内においては作業指示者、作業工程管理者の役割を担っています。

○ 「全国フロントマン見積技術競技会」について

JARICでは、全国のJA自動車共済契約者に安心して愛車を任せてもらえるよう、フロントマンの技術向上を図り、優良かつ迅速な修理を行うことを目的に、昭和49年から毎年「全国フロントマン見積技術競技会」を実施しています。

出場資格は、各県域の大会において優秀な成績を修めた精鋭フロントマンで、本年は、25名が全国大会に出場しました。

○ 競技の概要

- ・ 11月13日(金)と14日(土)の2日間、JA共済 幕張研修センター内にて開催しました。
- ・ 選手は、「フロント損傷車」、「リア損傷車」の損傷個所の異なる2台の事故車両について、1台につき制限時間110分間で損傷個所のチェックやパーツ交換の必要性、工賃選定などを見極め、損害修理見積書を作成しました。
- ・ 選手が作成した損害修理見積書は、全国技術アジャスター協会会長 平林康男委員長をはじめとする5名の審査員がその精度を評価しました。
- ・ なお、本大会に使用した車両は、事故による損傷を再現した実車を用いて行われました。

以上